【2012.05.18】 〈TOIPCS〉

■ 学生は「大企業」「中堅中小企業」どちらを選ぶ？

－中堅中小企業を志望する学生が増加－

◆ インターネット調査の結果から

株式会社ディスコから、2013年3月卒業予定の大学生（主に現大学3年生）を対象に行った就職活動に関するインターネット調査（回答者数1,290人）の結果が発表されました。

これによると、大手企業を中心に就職活動をしている学生は「40.2%」、中堅中小企業を中心に活動している学生は「14.0%」でした。

しかし、3年前のアンケートでは、活動の中心が大手企業の学生は「51.9%」、中堅中小企業が中心の学生は「5.9%」であり、ここ数年で、中堅中小企業も志望する学生は着実に増えています。

◆ 中堅中小でやりがいのある仕事を

また、株式会社マイナビが実施した「2013年卒マイナビ大学生就職意識調査」でも、『中堅・中小企業志向』（「やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい」「中堅・中小企業がよい」との回答割合）が2001年卒以降で最高の59.2%となっており、『大手企業志向』（「絶対に大手企業がよい」「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」との回答割合）の減少傾向が続いています。

不透明な経済情勢が続くなか、大企業よりも、比較的若いうちから中心的な仕事を任される可能性が高い中堅中小企業の志望者が増えているようです。

◆ 転職理由のベスト3

大手企業・中堅中小企業のどちらへの就職であっても、企業側が気になるのは、採用した社員の転職です。

株式会社インテリジェンスが発表した「転職理由調査2012年版」の結果によれば、転職理由のベスト3は次の通りとなっています。

（1）「会社の将来性が不安」（14.2%）
（2）「他にやりたい仕事がある」（13.2%）
（3）「給与に不満がある」（8.5%）と続きました。

時間とお金をかけて採用・育成した社員をいかに定着させるかが、企業には問われるところです。